

### 楽天株式会社

平成9年に創業した楽天株式会社は、国内最大級のインターネット・ショッピングモール「楽天市場」や総合旅行サイト「楽天トラベル」をはじめ、楽天グループとしてeコマース、電子書籍、トラベル、銀行、クレジットカード、電子マネー、ポータル&メディア事業、オンラインマーケティング、

物流、プロスポーツといった多岐にわたる分野でサービスを展開しています。平成24年から国内のイヌワシの置かれた状況を伝える啓発活動「イヌワシを守るプロジェクト」に取り組み、今年7月には東北6県で森林の環境を守る「楽天の森」プロジェクトを立ち上げました。

## すべての生き物が暮らしやすい森林を目指す「楽天の森」

楽天株式会社では、①スポーツ・文化振興、②次世代教育、③コミュニティの発展、④環境配慮、⑤災害・人道支援の5つの方針の下、東日本大震災の被災地復興支援や教育振興など、幅広い社会貢献活動を展開してきました。

今年7月にスタートした「楽天の森」プロジェクトは、これまでの社会貢献活動の経験を基に、生態系の保護を目的として全国各地の森林の保全を行う取り組み。初年度である今年には、絶滅危惧種に指定されているイヌワシの生息地の15都道府県で間伐の推進を行う予定です。

### きっかけは一通のメール

楽天株式会社が平成24年から取り組んできた「イヌワシを守るプロジェクト」のきっかけは、利用者から送られてきた「東北楽天ゴールデンイーグルスのマスケットクラッチ」のモデルであるイヌワシが絶滅の危機にある」という一通のメールでした。

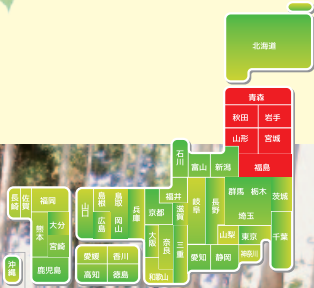
楽天株式会社では、このメールを契機に各自自治体へのヒアリング等を実施して国内のイヌワシの生息に関する情報収集を行い、その生息が危機的状況にあることを確認。「イヌワシを守るプロジェクト」を立ち上げて、イヌワシの危機的な状況と森林保全の必要性をホームページで伝えるとともに、東北楽天ゴールデンイーグルスのホームグラウンド・コボスタ宮城のビジョンやアナウンスを使用して紹介する等の啓発活動を行ってきました。

### すべての生き物が暮らしやすい環境を

「楽天の森」プロジェクトは、「イヌワシを守るプロジェクト」の継承と発展を目的とした活動です。林業人口の減少などで間伐が十分に行われず、小動物の食べる下草が育たなく



山形県での生態調査風景。自動撮影装置(左の幹に固定)によるノウサギ調査と植生調査(写真提供：山形大学・林田光祐教授)





# 楽天株式会社 「楽天の森」

## ●活動フィールド(平成26年度)

青森県弘前市、岩手県宮古町、宮城県  
女川町、秋田県鹿角市、山形県酒田市、  
福島県相馬市

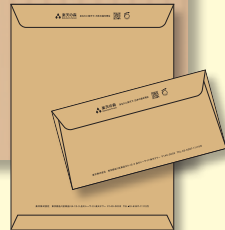
※平成26年度中に他9都道府県の活動フ  
ィールドを追加予定

## ●森林整備活動「楽天の森」ホームページ

[http://corp.rakuten.co.jp/csr/  
activities/environment/forest/](http://corp.rakuten.co.jp/csr/activities/environment/forest/)



「楽天の森」ロゴ入りの  
ダンボール



間伐材を使用した  
「楽天の森」ロゴ入り社用封筒



東北楽天ゴールデンイーグルス  
マスコット「クラッチ」  
背番号10番 平成17年生まれ

## 「楽天の森宣言」

楽天イーグルスのマスコット  
“クラッチ”のモデル・イヌワ  
シが絶滅の危機にあります。  
イヌワシが生息できる森林  
は、豊かで生態系のバランス  
のとれた環境であることの証  
です。  
楽天は、すべての生き物にと  
って暮らしやすい環境を整え  
るため、日本全国で森林整備  
を開始します。

### イヌワシの生息地

■ 生息のみ確認されている地域  
■ 繁殖が確認されている地域  
■ 現在調査中(過去に生息確認あり)  
■ 現在調査中(生息未確認)



イヌワシの生息地は、東日本が多く、  
その数は年々減っています。



イヌワシの生息に適していない森林(宮城県)



笹だけが育ち、鹿しか来ない森林(宮城県)

## 森林への思いを集めて

「楽天の森」プロジェクトでは、楽天グループのさまざまな事業をはじめ、楽天に関わる  
パートナー企業や楽天のサービスを利用しているお客様とともに、森の再生に取り組む仕組  
みを準備しています。

具体的には、楽天株式会社からの費用拠出に加え、楽天市場出店店舗や楽天トラベル登録施設  
からの協力、また楽天市場出店店舗に販売する「楽天の森」のロゴ入りダンボールおよび梱包テープ  
の売り上げの一部や個人のお客様からの募金を森林整備費用に充てるほか、間伐材を使用した社  
用封筒類や楽天グループの様々なサービスで使用される印刷物を使った啓発活動を行うという仕  
組みです。これによって、取引企業からお客様まで全ての人が森の再生に関わることができま

## 健康な森林の再生を目指して

イヌワシがきっかけで始まった「楽天の森」プロジェクトですが、今後はイヌワシの保全にと  
どまらず、今後3年間で生態系の維持を目的とした全国各都道府県での活動展開への拡大を  
予定しています。

間伐をはじめとした森林整備によって、ブナなどの広葉樹が生い茂り、ウサギやリスなど  
の小動物が元気に走り回る、すべての生き物が暮らしやすい健康な森林の再生を目指し、継  
続的な活動に取り組んでいきたいと考えています。

なってきた森林の環境を整備し、食物連鎖の最上位にいるイヌワシが生息できる環境と  
生態系を保全することを狙っています。  
平成26年度はイヌワシが生息する東北6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福  
島県)から活動を開始し、自治体や土地の所有者と連携して、1県について年間1ha以上の  
森林を3年間にわたって整備します。針葉樹林では段階的な間伐を行い、広葉樹林では間伐  
に加えて下刈を行うことにより、森林を理想的な状態に戻す計画です。  
東北6県のうち山形県では森林整備のほかに、山形県の「やまがた絆の森プロジェクト」に  
楽天株式会社と山形大学が参加して、産学官連携でイヌワシの生態調査を行う試みも行われ  
ます。この調査は、イヌワシの生態研究を行っている山形大学の林田光祐教授が担当し、森  
林整備前後の植生調査、自動撮影カメラを使用したほ乳類の生育基礎調査、ノウサギ出現調  
査、イヌワシ行動調査の4項目について、5年間行う予定で、調査レポートは毎月写真付き  
でホームページ上に掲載されることになっています。  
また、「楽天の森」は平成26年度中に9都道府県を追加した15都道府県での活動へと拡大する予定  
です。